

令和6年度 定期総会

(資料)

令和6年7月6日

筑紫丘高等学校ラグビー部OB会

令和6年度 筑紫丘高等学校ラグビー部OB会総会（次第）

日時：令和6年7月6日（土）

午後18時15分～

会場：天神スカイホール

（西日本新聞会館16階）

1. 開 会
2. 会長挨拶
3. 来賓ご挨拶
4. 議 事（決議事項）
 - ① 令和5年度事業報告の件
 - ② 令和5年度決算報告及び監査報告の件
 - ③ 令和6年度事業計画（案）の件
 - ④ 令和6年度予算（案）の件
 - ⑤ 役員改選の件
 - ⑥ 会則の改定の件
 - ⑦ その他
5. その他連絡事項
 - ① 筑紫丘高校創立100周年事業「グランド人工芝化」の件
 - ② 創部80周年実行委員会の件
6. 閉 会

会長挨拶「筑紫丘ラグビーへの想い～創部80周年に向けて～」

筑紫丘高校ラグビー部OB会
第9代会長 角 博（第33回卒）

山々の緑は一層の深みを増し梅雨明けが待ち遠しい季節となりました。会員の皆様ご健勝のこととお喜び申し上げます。日頃よりOB会活動ならびに筑紫丘高等学校ラグビー部の強化運営に多大なるご支援とご協力を賜り、厚く御礼を申し上げます。

昨年度はラグビーフェスティバルや初蹴り（OB戦）の開催、会費ペイの導入や創部80周年実行委員会の立上げ、さらにはラグビー部として初めてとなる中国広島強化遠征への支援など、積極的に事業を行うことができました。また、昨年を上回る230名の皆様に会費を納入していただきました。そして30名以上の方より寄付金を9社よりバナー広告をいただきました。会員の皆様のご支援とご協力に心より感謝申し上げます。

私は筑紫丘高校ラグビー部に入部して以来、今年で46年になります。この間ヘッドコーチを含めコーチを30年以上務めさせていただいていますが、筑紫丘ラグビーで培った身体と精神力、そして先輩方後輩の皆様とのご縁が現在の私の心の支えとなっています。その筑紫丘ラグビーへのご恩返しの思いで、2017年度から会長職をお引き受けしておりますが、会員の皆様との情報共有や情報発信、そして会費の納入率の低迷などOB会の運営の難しさ、また近年のラグビー人口の減少による部員の確保や練習時間の確保の難しさ、ライバル校の人工芝化など筑紫丘高校ラグビー部を取り巻く環境の変化や厳しさを痛感しているところでございます。そのような状況の中でも、現場の先生方やコーチの皆様への支え、そしてOB・OG諸氏の心温かいご支援により筑紫丘高校ラグビー部がしっかり活動し運営できていることは大変ありがたく幸せなことであると感謝申し上げなくてはなりません。

今年度のキャプテンは田中君、バイスカプテンは古川君です。二人とも素晴らしい素質を持った選手です。現在部員は新入部員10名を含めて36名（内3名マネージャー）と部員確保が厳しい状況の中、比較的恵まれた部員数でのスタートとなりました。中村監督、荒牧部長、吉上ヘッドコーチのもと「あたり勝つ、走り勝つ、タックルし勝つ」を合言葉に、福岡県ベスト4、県内公立高校NO1、春の全国大会出場そして花園出場にチャレンジしてもらいたいと思います。

さて筑紫丘高等学校ラグビー部は、2026年に創部80周年を迎えます。80年継続してきた中には、先人の諸先輩方から受け継がれた歴史と伝統という、見えない計り知れない力があります。筑紫丘ラグビーの独自性を現役部員にも継承しつつ、我々OB・OGそしてジュニアスクールなど筑紫丘ラグビー倶楽部に関わる皆様とも共有し、筑紫丘ラグビーのさらなる発展を目指していく80周年にしたいと心より願っているところであります。昨年度より実行委員会を組織し様々な準備を行っています。2026年7月には記念式典と大懇親会を予定しております。また、記念講演会、記念事業、記念強化遠征、記念誌の発刊、寄付募金なども企画運営していきます。

また、「グラウンドの人工芝化」については筑紫丘高等学校創立100周年記念事業として正式に決定し、人工芝敷設事業3億円の目標額が定められました。グラウンドの人工芝化はOB会そして筑紫丘高校ラグビー部にとっても絶対に達成しなければならない悲願であります。森田（タモリ）実行委員長のもと、ラグビー部とOB会が中心となって全力で寄付金募金活動に協力していきたいと思っておりますので皆様方の絶大なるご支援をお願いいたします。

世の中の変化が速くて劇的である時代に、当然ながら筑紫丘ラグビーもOB会も変化と成長をし続けていかなければなりません。今年度も全力で筑紫丘ラグビー部を支援してまいります。創部80周年に向けて会員各位の熱い思いを集結していきましょう。

福岡県高等学校ラグビーフットボール新人大会の結果

3回戦 令和6年1月14日 筑紫丘 10対17 嘉穂

福岡県高等学校ラグビーフットボール九州大会福岡県予選の結果

2回戦 令和6年5月5日 筑紫丘 43対5 合同チームF
3回戦 令和6年5月12日 筑紫丘 14対14 嘉穂
(抽選負け)

【事務局からの連絡】

◎令和6年度のOB会年会費の納入をお願いいたします。

(会費ペイ登録によるお支払い以外の方)

社会人OB 6000円

※卒業後7年目より徴収

下記の口座に直接、お振込みをお願いいたします。過去の分が未納の方は、過去の分も含めて納入いただいても結構です。

店名：福岡銀行筑後支店（店番653） 普通口座
口座番号：2059011
口座名：チクシガオカコウトウガッコウラグビーブOBカイ
 カイチョウ スミ ヒロシ

銀行振り込みの場合、お名前の前か後に卒業回数を入力して下さい。

(例) 33 スミ ヒロシ

◎現役強化支援金の寄付を募っております。

個人一口1000円（法人一口1万円）です。

こちらの方もご支援の程よろしくをお願いいたします。

◎バナー広告の掲載（一口：2万円）を募集しております。

会社経営者や個人事業主はよろしくをお願いいたします。

◎会費ペイ登録のお願い。

OB会費納入と会員情報の管理のため、ご登録をお願いします。
会員情報の登録だけいただき、会費は今までどおりお振込みでお支払いいただくことも可能です。



一般会員用



卒業後6年以内

令和5年度 事業報告

(令和5年4月1日～令和6年3月31日)

会員相互の親睦と現役の支援を目的に、以下の三本柱を方針として掲げて事業活動を行いました。

<三本柱>

1. 会費納入率50%の早期実現
2. 創部80周年事業に向けた準備とチームの強化
3. 会員情報の把握と会員への情報発信の強化

I. 事業

1. 現役支援

①夏合宿補助（コーチ3名を派遣）

日時：8月10日～12日

場所：久住スポーツセンター

②中国広島強化遠征支援（遠征費の50%の補助、コーチ3名が同行）

日時：令和5年9月17日～18日（1泊2日）

対戦相手：石見智翠館、崇徳高校

③筑紫丘ラグビーフェスティバル開催費補助及びOB戦（初蹴り）開催費補助

④強化支援

- ・食トレ及びメンタルトレーニング費用補助
- ・体力強化フィジカルトレーニング費用（城戸トレーナー）

2. イベントの実施

①第24回筑紫丘ラグビーフェスティバルの開催

日時：令和5年4月29日

内容：小1年～小6年、中1、高校

実行委員：佐藤ジュニア事務局長、中村監督

②OB戦（初蹴り）

日時：令和6年1月2日

参加者：60名

③第三回筑紫高校定期戦

令和5年7月30日にJAPAN BASEにて開催した。

3. ジュニアスクールの運営

4. 会員情報の把握と会員情報発信の強化

①筑紫丘高校ラグビー部OB会専用ホームページの運営

HPの運営を外部委託し的確でスピーディーな情報発信と更新回数増を行った

②筑紫丘ROBライングループ（OB会長が主催する情報発信専用ライン）の拡大

現役の活動情報（練習試合、公式戦、合宿等）、OB会の取組みや活動状況を発信

した。(登録者数 ; 179 名⇒230 名)

③会費ペイの登録促進により会員管理を開始した。

6. 会費納入率のアップ

会費ペイ登録の促進を実施した。(令和 6 年 3 月 31 日の登録者 : 111 名)

7. 創部 80 周年実行委員会の開催

役員会の中で実行委員会を 3 回開催した。

8. 筑紫丘高校ラグビー部保護者後援会との連携

令和 5 年 6 月 11 日・・・夏季総会及び懇親会参加 (角会長、吉上ヘッドコーチ、川原田コーチ、青木コーチ)

令和 6 年 3 月 20 日・・・卒部式及び懇親会参加 (角会長、藤副会長、吉上ヘッドコーチ、川原田コーチ、青木コーチ、城戸トレーナー)

卒業生にはOB会より筑紫丘ラグビークラブネクタイを贈呈した。

9. バナー広告・・・OBの皆様 (村上、山川、持田、角、竹林、早瀬、黒木、青柳、坪田) より申込みをいただきました。

10. 現役強化寄付金の募集・・・324, 296 円の支援をいただきました。

II. 会 議

1. 総会

令和 5 年 7 月 1 日に天神スカイホールで開催した。

2. 役員会・幹事会・コーチ会議

役員会 4 回、幹事会 4 回、コーチ会議 3 回それぞれ開催した。

令和5年度 筑紫丘高等学校ラグビー部OB会 決算報告書

(自 令和5年4月1日～ 至 令和6年3月31日)

収入の部		
科目	金額 (円)	
前年度繰越金	1,625,761	
HPバナー広告協賛金 (9社)	280,000	
会費収入(230名)	1,362,000	
現役強化寄付金	324,296	
ネクタイ収入(本)	0	
雑収入 (利息等)	49	
現役強化遠征積立金戻入	1,000,000	
合計	4,592,106	
支出の部		
科目	詳細	金額 (円)
現役支援	筑紫丘ラグビーフェスティバル開催費	163,800
	強化支援金	799,894
	中国広島強化遠征費補助	839,922
	OB戦費	19,725
会議費	役員会・幹事会・コーチ会議	39,800
HP維持費	サーバー料・更新料等	119,350
父兄後援会費	夏季総会・卒部式	51,000
通信費	OB会報等 各種案内	0
印刷費	OB会報等 各種案内	0
雑費	慶事費・コーナ宿泊費交通費補助・備品購入費 インターネットバンキング手数料等	132,990
小計		2,166,481
創立80周年積立基金		500,000
現役強化遠征積立金		500,000
次期繰越金		1,425,625
合計		4,592,106

令和5年度 筑紫丘高等学校ラグビー部OB会
積立金残高一覧表
(自 令和5年4月1日～ 至 令和6年3月31日)

項目	創立80周年積立基金	現役強化遠征積立金	合計
前年度残高	2,000,000	2,353,010	4,353,010
当期変動額			
積立金取崩		-1,000,000	-1,000,000
当期積立	500,000	500,000	1,000,000
当年度残高	2,500,000	1,853,010	4,353,010

令和5年度 OB会年会費納入者

最終版

ありがとうございました

9回卒	1名	竹若 晴喜
10回卒		
11回卒		
12回卒		
13回卒		
14回卒		
15回卒		
16回卒	1名	稲垣 穰二
17回卒		
18回卒		
19回卒		
20回卒		
21回卒		
22回卒	4名	新飼 太平、堤 和信、寺崎 敏也、西山 晴之
23回卒	2名	上永 龍三、山浦 和人
24回卒	2名	久光 一郎、大六野 耕作
25回卒	3名	綾部 信、徳永 寛樹、野川 文吾
26回卒	3名	村上 隆英、山川 正洋、児玉 信行
27回卒	7名	清水 博史、平分 一英、廣瀬 雅和、牟田 邦彦、山城 泰介、白水 繁隆、富安 治彦
28回卒	6名	白杵 知江子、高取 宏行、納屋 健太郎、岩見 憲二、竹下 信治、妻鳥 元太郎
29回卒	2名	脇田 雅和、白石 克明
30回卒	4名	中田 俊一、妻鳥 光二郎、中村 孝昭、仁田原 慶一
31回卒	1名	中村 陽
32回卒	8名	藤 義之、田中 秀樹、林 誠、清原 泰治、田中 康寛、朔 慶典、荒牧 祐司、北村 達生
33回卒	8名	鶴野 英一郎、中野 俊一郎、角 博、原 秀樹、今福 和幸、稲田 泰典、金子 隆義、富澤 紳
34回卒	4名	野坂 倫保、堀家 憲一郎、江上 幸宏、山上 裕治
35回卒	6名	伊藤 政文、高田 哲、徳永 響、伊藤 尚、高原 浩之、松本 博樹
36回卒	5名	石橋 賢、樋口 武史、西野 雅博、近藤 健、竹林 祥恵
37回卒	3名	野村 聡、大神 徳仁、松尾 慎一
38回卒	4名	竹下 和宏、南 秀樹、佐々木 亮司、友池 太一
39回卒	3名	郷田 正、坂口 寿史、中村 成志
40回卒	11名	廣井 紀文、八尋 一城、飯田 彰、江良 耕一、落合 勝、窪山 隆典、竹若 啓一、中島 大輔、百武 功二、前田 禎夫
41回卒	8名	佐藤 寛之、竹下 明宏、石橋 研一、志手 隆之、藤 智宏、大坪 学博、牛塚 耕治、坂井 孝行
42回卒	13名	川原田 和久、吉武 勉、不老 貴規、遠原 治、鷺海 達矢、峯 洋一郎、江口 智彦、西 耕一郎、橋爪 崇、田山 正明
43回卒	10名	隈部 謙太郎、増山 隆之、汐崎 史裕、関 秀徳、青木 信也、小西 健太郎、徳重 利洋智、高田 対馬、江口 大輔、林田 修治
44回卒	11名	清水 圭、蓑田 達、幸元 洋征、岩本 尚吾、灘辺 亮、山下 淳、太田 誠一、諫山 知広、白濱 尊義、酒井 勇嗣
45回卒	9名	井上 尚彦、黒木 圭一、西山 輝彦、峯 和史、吉富 達昌、ヤウマルアキヒサ、大橋 日出男、吉田 俊郎、三嶌 晴志
46回卒	11名	青柳 竜門、吉上 耕平、楠原 顕雄、東 賢二郎、甲木 昌平、根岸 亜野、緒垣 新吾、稲永 寿一、村田 哲弘、柄本 貫
47回卒	9名	西田 武史、森山 隆一郎、岩崎 剛一郎、尼子 貴司、大川 倫央、小石 健太郎、高平 幸一郎、八谷 陽一郎、的場 寿光
48回卒	13名	伊勢 裕基、太田 知昌、熊谷 一将、下田 慎介、調 祐介、早瀬 篤志、原口 健太郎、安枝 稔、脇 健太、大曲 徹
49回卒	4名	穴見 晃一、清水 隆司、馬場 隆、諸藤 洋平
50回卒	4名	熊本 太郎、松下 久典、森田 啓介、筒井 洋貴
51回卒		
52回卒	4名	穂坂 亘、下村 国仁、緒方 克海、山野 健太郎
53回卒	1名	山口 宏樹
54回卒	7名	松見 紀男、坪田 晋、浦上 信介、橋本 匠平、大淵 公晴、片井 慎一、伊勢 昌幸人
55回卒	1名	石蔵 義浩
56回卒	2名	北園 拓郎、藤吉 裕一郎
57回卒	6名	久良木 陵太、安元 慧大朗、永川 大希、堤 大輔、新留 頌一郎、小出 翔
58回卒	1名	脇田 大揮
59回卒	1名	富山 貢
60回卒	5名	中村 総一郎、片平 恭佑、属 康、福原 崇、前田 祐二
61回卒	5名	境 祥平、柴田 拳吾、中村 祐輝、天野 貴暢、白石 大貴
62回卒		
63回卒	2名	井上 晃太、堀 将史
64回卒	1名	小田 樹
65回卒	1名	村上 浩市
66回卒	2名	古川 優伊、本武 育真
67回卒	4名	フリン 勝音、岩尾 駿、堂森 真太郎、天野 祐一朗
68回卒	1名	西井 直道
69回卒	2名	坂口 航大、野村 亨
70回卒		
71回卒		
72回卒	2名	タニグチウスケ、萩尾勘太
73回卒	1名	オダリオ
74回卒	1名	野村 歩
合計	230名	


監査報告書

令和6年6月15日

筑紫丘高等学校ラグビー部OB会

会長 角 博 殿

監事 竹 下 和 宏 

監事 増 山 隆 之 

令和5年度会計諸帳簿、預金通帳等について令和6年6月15日
照合精査の結果、正確に記載されており、決算報告書のとおり
相違ないことを報告いたします。

令和6年度 事業計画(案)

(令和5年4月1日～令和6年3月31日)

会員相互の親睦と現役の支援を目的に、以下の三本柱を方針として掲げて事業活動を行っていきます。

◎スローガン 「創部80周年に向けて ONE TEAM」

◎三本柱

1. 会費納入率50%の早期実現
2. 創部80周年事業の成功と現役の強化
3. 会員情報の把握と会員への情報発信の強化による活性化

I. 事業

1. 現役支援

- ①合宿及び定期戦等の補助
- ②筑紫丘ラグビーフェスティバルの開催補助
- ③OB戦開催補助
- ④強化支援(フィジカルトレーナー費用、食トレ及びメンタルトレーニング費用等)

2. イベントの実施

- ①第25回筑紫丘ラグビーフェスティバルの開催

令和6年4月29日

- ②OB戦の実施

・初蹴り：令和7年1月2日

- ③第4回筑紫高校定期戦

日時：令和6年7月28日 場所：Japan Base

3. ジュニアスクールの運営及び連携の強化

- ①ジュニアスクールコーチ陣との情報交換
- ②現役コーチ陣及び現役による指導(交流会や合同練習)

4. 会費納入率50%の実現に向けた取組み強化(2028年度目標70%)

- ①会員管理広報本部(財務特別委員会の格上げ)の設置による会員情報の管理と会費納入率向上業務及び広報PR業務の一本化
- ②会費ペイ登録の促進(今期中に80%の登録を目指す)
- ③各代の幹事(主将など)の設置による納入依頼体制の構築

5. 会員情報の把握と会員への情報発信の強化

- ①筑紫丘高校ラグビー部OB会専用HPの刷新(スマホ対応を含む)
- ②SNS体系の構築による情報発信
- ③筑紫丘ROBライングループ(OB会長が主催する情報発信専用ライン)の拡大

(230名⇒300名)

④会費ペイの登録促進による会員情報の収集管理

6. 筑紫丘高校ラグビー部保護者後援会との連携

令和6年6月・・・夏季総会 (OB会長とコーチ)

令和7年3月・・・卒部式 (OB会長とコーチ)

7. バナー広告の募集 (一口2万円)

8. 創部80周年(2026年)事業の成功と現役の強化

① 実行委員会の開催 (役員会と並行して実施する)

② 記念事業の企画運営

・ 記念式典及び記念懇親会

・ 記念講演会

・ 記念強化遠征

・ 記念誌の発刊及び記念グッズの制作

・ 記念試合 (ラグビーフェスティバル、ラグビー教室)

・ 部室及びウエイト器具の購入

・ 寄付募金 (クラウドファンディング、スポンサー企業、特別会費徴収、一般寄付)

③ 現役の強化

・ ジュニアスクールからの入部の促進強化

・ 推薦入学者の入部強化に向けた取り組み筑紫丘高校との連携強化

9. 創部80周年にむけた寄付募金の開始

クラウドファンディング募集、スポンサー企業募集、特別会費の徴収、一般寄付の募集の開始

10. 「チーム100」特別委員会の設置

OB会の将来ビジョンと筑紫丘ラグビー倶楽部構想の策定

II. 会議

1. 総会

日時：令和6年7月6日(土) 18時30分～

場所：天神スカイホール

2. 役員会・幹事会の開催

令和6年6月、9月、11月、令和7年3月

3. コーチ会議

令和6年6月、11月、令和7年2月

4. ジュニアスクールとの合同役員会(懇親会)

年一回

令和6年度 予算(案)

(令和6年4月1日～令和7年3月31日)

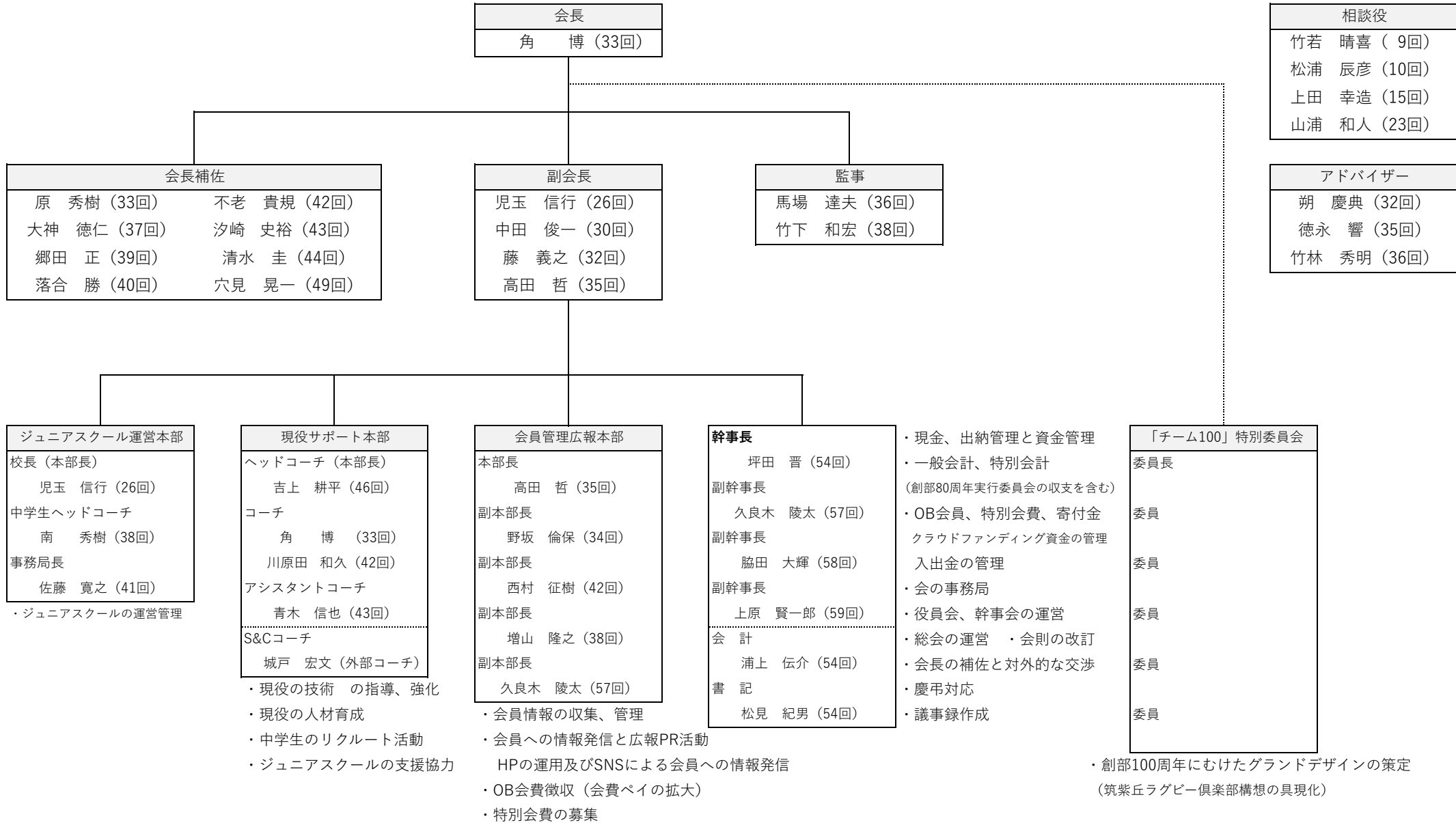
収入の部		
科目	金額(円)	
前年度繰越金	1,425,625	
HPバナー広告協賛金(10社)	200,000	
会費収入(250名)	1,500,000	
雑収入	100	
合計	3,125,725	
支出の部		
科目	詳細	金額(円)
現役支援	ラグビーフェスティバル開催費	10,000
	強化支援金	800,000
	OB戦・定期戦費	50,000
会議費	役員会・幹事会・コーチ会議・実行委員会等	100,000
HP費	制作費(スマホ対応を含む)、サーバー料・更新料等	300,000
保護者後援会会費	夏季総会・卒部式	40,000
通信費	OB会報、募金活動等各種案内	30,000
印刷費	OB会報、募金案内等各種案内	50,000
雑費	慶事費・コーチ宿泊交通費補助・役員交通費補助	200,000
	インターネットバンキング手数料・備品購入費	
小計		1,580,000
創部80周年積立基金		300,000
現役強化遠征積立金		200,000
次期繰越金		1,045,725
合計		3,125,725

筑紫丘高等学校ラグビー部OB会役員（案）

会 長	角 博 (33回)	<「チーム100」特別委員会>	
副会長	児玉 信行 (26回)	委員長	
〃	中田 俊一 (30回)	委員	
〃	藤 義之 (32回)	〃	
〃	高田 哲 (35回)	〃	
会長補佐	原 秀樹 (33回)	<会員管理広報本部>	
〃	大神 徳仁 (37回)	本部長	高田 哲 (35回)
〃	郷田 正 (39回)	副本部長	野坂 倫保 (34回)
〃	落合 勝 (40回)	〃	西村 征樹 (42回)
〃	不老 貴規 (42回)	〃	増山 隆之 (43回)
〃	汐崎 史裕 (43回)	〃	久良木 陵太 (57回)
〃	清水 圭 (44回)		
〃	穴見 晃一 (49回)		
〃		相談役	竹若 晴喜 (9回)
幹事長	坪田 晋 (54回)	〃	松浦 辰彦 (10回)
副幹事長	久良木 陵太 (57回)	〃	上田 幸造 (15回)
〃	脇田 大輝 (58回)	〃	山浦 和人 (23回)
〃	上原 賢一郎 (59回)		
書 記	松見 紀男 (54回)	アドバイザー	朔 慶典 (32回)
会 計	浦上 信介 (54回)	〃	徳永 響 (35回)
監 事	馬場 達夫 (36回)	〃	竹林秀明 (36回)
〃	竹下 和宏 (38回)		
<ジュニアスクール運営本部>			
校長（本部長）	児玉 信行 (26回)		
中学生ヘッドコーチ	南 秀樹 (38回)		
事務局長	佐藤 寛之 (41回)		
<現役サポート本部>			
ヘッドコーチ（本部長）	吉上 耕平 (46回)		
コーチ	角 博 (33回)		
〃	川原田 和久 (42回)		
アシスタントコーチ	青木 信也 (43回)		
S&Cコーチ	城戸 宏文 (外部コーチ)		

（令和6年7月6日）

筑紫丘高等学校ラグビー部OB会役員組織図(案)



令和6年7月6日

『筑紫丘高等学校ラグビー部OB会』 会 則

(名称及び構成)

第1条 本会は、「筑紫丘高等学校ラグビー部OB会」と称し、筑紫丘高等学校ラグビー部出身者及び役員会での推薦者で構成する。

(目的)

第2条 本会は、会員相互の融和と親睦を図るとともに、母校ラグビー部の発展に寄与することを目的とする。

(事業)

第3条 本会は、以下の事業を行う。

- 1) 記念事業等の実施
- 2) 母校ラグビー部活動への後援
- 3) 部外コーチの招へい
- 4) ジュニアスクールの運営
- 5) その他本会の目的に沿う事業等

(役員)

第4条 本会には次の役員を置く。

会長	1名
副会長	若干名（ジュニアスクール校長及び監督を兼務することができる）
会長補佐	若干名
幹事長	1名
副幹事長	若干名
会計	1名
監事	2名
書記	1名（副幹事長が兼務することができる）
本部長	1名
副本部長	若干名
指導コーチ	若干名
ジュニアスクール校長	1名
ジュニアスクール事務局長	1名
ジュニアスクール監督	1名
ジュニアスクール中学生ヘッドコーチ	1名

(役員任期及び選任)

第5条

- 1) 役員任期は2年とし、その再任は妨げない。
- 2) 会長の選任は会員よりの推薦とし、総会の承認を得て決定する。
- 3) その他役員、相談役及びアドバイザーは会長の推薦を受け、総会の承認を得て決定する。

(会議)

第6条

- 1) 本会の会議は総会及び役員会並びに幹事会とし、その召集は会長が行う。
- 2) 総会は本会最高の決議機関とし、毎年1回開催し予算・決算・事業報告、会則の変更及び会費の決定並びに役員承認等を行う。
- 3) 総会及び役員会の議長は、会長が務める。
- 4) 総会及び役員会の議決は出席者の過半数をもって決定し、可否同数の場合は会長の決するところによる。

(役員責務)

第7条

- 1) 会長は会務を統理し本会を代表し、総会及び役員会の決定事項を執行する。
- 2) 副会長は会長を補佐し、会長事故あるときはその業務を代行する。副会長の内1名はジュニアスクールの校長及び監督を兼務することができる。ジュニアスクール校長はジュニアスクールを統括し、ジュニアスクール事務局長及びジュニアスクール監督、ジュニアスクール中学生ヘッドコーチとともにジュニアスクールの運営を行う。また、会長補佐は会長の特命事項を行い、会長を補佐する。
- 3) 幹事長は会長、副会長の業務を補佐し、会議の開催、事業の執行等を行うとともに、幹事を統括する。
- 4) 副幹事長は会議の開催、事業の執行等に関し、幹事長を補佐する。
- 5) 会計は会費の徴収、事業執行及び慶弔に伴う支払い事務を行い、収支計算書を作成する。
- 6) 本部長、副本部長は会務の企画運営を行う
- 7) 監事は業務及び会計を監査する。
- 8) 書記は副幹事長が兼務することができ、総会及び役員会並びに幹事会の議事録等事業に関する事項を記録する。
- 9) 指導コーチは母校ラグビー部の指導を行う。
また、会長の指名によりコーチを統括するヘッドコーチを置くことができる。

(幹事)

第8条

- 1) 本会は原則として各学年ごとに1名の幹事を置く。
- 2) 幹事は幹事長の元で事業執行に関し、会員との連絡調整を行う。

(相談役・アドバイザー)

- 第9条
- 1) 本会に相談役及びアドバイザーを置くことができる。
 - 2) 相談役は会長歴任者及び本会に顕著な功労があった者で、会長の推薦による者とする。又、アドバイザーは本会の運営に助言をいただく者とし、会長の推薦による者とする。
 - 3) 相談役及びアドバイザーは会長の要請により役員会に出席することができる。

(会費)

- 第10条
- 本会の会費は年会費及び特別会費とし、そのうちの年会費の金額は役員会で決定し、総会の承認を得なければならない。
- なお、特別会費の金額については、役員会で決定する。

(慶弔)

- 第11条
- 会員の慶弔等に対し、役員会の承認を得て金品を贈ることができる。

(会計)

- 第12条
- 1) 本会の経費は年会費・特別会費及び寄付金の収入によるものとし、会計年度は毎年2月1日に始まり翌年の1月31日に終わる。
 - 2) 会計は毎年収支決算報告書を作成し、監事の監査を受けたいうで総会で承認を受けるものとする。

附則

本会の会則は、昭和62年4月1日より発効する。

附則

本会の改正会則は、平成2年7月29日より実施する。

附則

第3条4の規定は、平成6年7月24日より実施する。

附則

本会の改正会則は、平成10年8月4日より実施する。

附則

本会の改正会則は、平成13年5月1日より実施する。

附則

本会の改正会則は、平成21年6月27日より実施する。

附則

本会の改正会則は、平成25年7月13日より実施する。

附則

本会の改正会則は、令和3年7月4日より実施する。

附則

本会の改正会則は、令和5年7月1日より実施する。

附則

本会の改正会則は、令和6年7月6日より実施する。

創部80周年実行委員会 組織図

